



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月10日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東
 コード番号 5271 URL <http://www.toyoasano.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 泰右
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 敏彦 (TEL) 055-967-3535
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	2,776	△18.8	△153	—	△162	—	△127	—
2020年2月期第1四半期	3,418	△18.1	146	△59.3	155	△54.1	94	△56.2

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △112百万円(—%) 2020年2月期第1四半期 94百万円(△55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△98.09	—
2020年2月期第1四半期	74.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	14,632	3,232	21.6
2020年2月期	14,680	3,410	22.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 3,161百万円 2020年2月期 3,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	25.00	—	50.00	75.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	15.9	130	△15.4	100	△36.2	50	△42.1	38.59
通期	14,500	8.3	320	36.7	250	14.7	120	24.6	92.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年2月期1Q	1,440,840株	2020年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	145,124株	2020年2月期	145,124株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年2月期1Q	1,295,716株	2020年2月期1Q	1,268,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、経済活動が大きく制限され、景気は急激に悪化いたしました。国内においても緊急事態宣言が発令されるなど、過去に例のない状況になりました。

当社グループの事業分野であります建築業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で物件の遅延も発生しておりますが、感染予防を徹底し、現時点での影響は限定的な状況であります。

当社グループの事業分野でありますコンクリートパイル事業におきましては、全国需要はほぼ前年同期並みとなりましたが、当社の主力商圏であります関東および静岡につきましては、前年同期の需要が非常に低水準だったこともあり、前年同期を上回る水準で推移しております。

また、コンクリートセグメント事業につきましては、大型物件の端境期にあり、前連結会計年度に引き続き極めて厳しい事業環境となりました。

不動産賃貸事業につきましては、安定した業績で推移しております。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門につきましては、全国需要はほぼ前年同期並みとなりました。当社も計画段階では相応の出荷を見込んでおりましたが、着工遅れの物件に起因する工場の低操業が続いた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,296百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業損失は34百万円（前年同四半期は7百万円の利益）となりました。

②コンクリートセグメント事業

大型物件の端境期にあり、前連結会計年度に引き続き極めて厳しい事業環境となりました。また、需要回復の時期が当初見込みより遅れており、当面は現在の状況が続くものと想定されることから、低操業に応じた生産体制を徹底しコスト削減に努め、前事業年度からの継続物件の製造を進めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は417百万円（前年同四半期比29.2%増）、営業利益は1百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

③工事業

低収益の大型物件が売上の多数を占めたことに加え、コンクリート二次製品事業と同様に着工遅れの物件が多数発生し第2四半期に売上計上がずれ込む見込みとなった結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,013百万円（前年同四半期比39.7%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期比99.1%減）となりました。

④不動産賃貸事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は49百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は前連結会計年度に実施した大規模修繕の影響がなくなったことから32百万円（前年同四半期比55.3%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,776百万円（前年同四半期比18.8%減）、営業損失は153百万円（前年同四半期は146百万円の利益）、経常損失は162百万円（前年同四半期は155百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は127百万円（前年同四半期は94百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、48百万円減少して14,632百万円となりました。これは主に電子記録債権の増加143百万円、未成工事支出金の増加336百万円、受取手形及び売掛金の減少541百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、130百万円増加して11,400百万円となりました。これは主に短期借入金の増加287百万円、長期借入金の増加433百万円、支払手形及び買掛金の減少253百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて178百万円減少して3,232百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、2020年4月10日に発表いたしました業績予想から変更はありません。当第1四半期において新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績への影響は、在宅勤務やオンライン会議等を活用して事業を継続したため軽微でありましたが、今後の新型コロナウイルス感染症拡大による影響の長期化による営業活動の状況を踏まえて、業績修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,711,441	1,614,622
受取手形及び売掛金	2,657,331	2,115,614
電子記録債権	698,238	841,904
商品及び製品	556,202	596,627
原材料及び貯蔵品	189,681	210,870
未成工事支出金	156,647	492,876
その他	210,088	191,825
流動資産合計	6,179,630	6,064,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,338,554	1,318,898
土地	4,884,384	4,884,384
その他(純額)	1,249,528	1,232,553
有形固定資産合計	7,472,467	7,435,835
無形固定資産	151,455	197,249
投資その他の資産		
投資有価証券	204,435	199,825
その他	680,519	743,157
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	877,310	935,339
固定資産合計	8,501,233	8,568,424
資産合計	14,680,864	14,632,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651,814	2,398,688
電子記録債務	1,591,141	1,479,450
短期借入金	1,986,077	2,273,898
未払法人税等	22,085	11,290
賞与引当金	—	57,124
その他	898,373	657,257
流動負債合計	7,149,491	6,877,708
固定負債		
長期借入金	3,126,244	3,559,298
退職給付に係る負債	415,510	392,795
その他	579,208	570,959
固定負債合計	4,120,963	4,523,052
負債合計	11,270,455	11,400,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	706,858	706,858
利益剰余金	2,239,241	2,047,363
自己株式	△106,650	△106,650
株主資本合計	3,559,869	3,367,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,125	4,313
退職給付に係る調整累計額	△213,948	△211,091
その他の包括利益累計額合計	△221,074	△206,778
非支配株主持分	71,614	70,791
純資産合計	3,410,409	3,232,004
負債純資産合計	14,680,864	14,632,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	3,418,264	2,776,708
売上原価	2,839,684	2,480,896
売上総利益	578,579	295,811
販売費及び一般管理費	432,265	449,138
営業利益又は営業損失(△)	146,313	△153,327
営業外収益		
受取利息	507	427
受取保険金	24,421	2,464
その他	2,469	2,840
営業外収益合計	27,398	5,732
営業外費用		
支払利息	17,761	15,232
その他	24	16
営業外費用合計	17,786	15,248
経常利益又は経常損失(△)	155,925	△162,843
特別損失		
投資有価証券評価損	—	21,098
特別損失合計	—	21,098
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	155,925	△183,941
法人税、住民税及び事業税	61,423	△56,880
法人税等合計	61,423	△56,880
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,502	△127,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	31
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	94,471	△127,092

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,502	△127,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,861	11,439
退職給付に係る調整額	2,999	2,902
その他の包括利益合計	137	14,341
四半期包括利益	94,639	△112,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,582	△112,796
非支配株主に係る四半期包括利益	57	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時点までに入手可能な情報に基づき、経済状況は第2四半期以降年度末に向けて回復に向かうものの、業績への影響は一定期間続くものと仮定し、会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響は不確実性が高く、今後の感染拡大の影響により、会計上の見積りに影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	1,363,952	323,488	1,681,125	49,697	3,418,264	—	3,418,264
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	15,936	—	—	8,662	24,598	△24,598	—
計	1,379,888	323,488	1,681,125	58,360	3,442,862	△24,598	3,418,264
セグメント 利益	7,273	2,120	263,089	20,757	293,241	△146,927	146,313

(注) 1 セグメント利益の調整額△146,927千円には、セグメント間取引消去4,785千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,713千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	1,296,591	417,901	1,013,019	49,195	2,776,708	—	2,776,708
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	27,994	—	—	7,858	35,853	△35,853	—
計	1,324,586	417,901	1,013,019	57,053	2,812,561	△35,853	2,776,708
セグメント 利益又は 損失(△)	△34,808	1,084	2,328	32,238	842	△154,170	△153,327

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△154,170千円には、セグメント間取引消去5,462千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,632千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益又は損失の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。